

# 市町訪問

東近江市

第40回 いきいき元気なまちづくり 東近江市

東近江市は総面積が388.37km<sup>2</sup>で、鈴鹿の山々から琵琶湖までが一つの市域となった森・里・川・湖が広がる多様性のある自然の中に、万葉の時代から綿々と続く歴史や文化・伝統が大切に育まれてきたまちです。

未盗掘のまま発見された雪野山古墳、聖徳太子ゆかりの社寺、ろくろ技術を全国に広めた木地師、日本経済の礎を築いた近江商人など時代を生きた人々の息吹が感じられます。特に、推古天皇14年(606)に聖徳太子が創建したとされる「百済寺」は、「湖東三山」の一つで秋の紅葉時期には多くの観光客で賑わいます。本堂には秘仏の本尊で、奈良時代最大級の「木造十一面観音立像」(249cm)が安置されています。

また、近畿圏と中京圏の中間に位置し、自然災害も比較的少なくインターチェンジ周辺や工業団地等を中心に多くの企業が立地しており、近畿最大の耕地面積を有する肥沃な土地では、穀物、野菜、果物の生産が盛んで、豊かな食生活を支えています。

【写真:東近江市】

【背景写真:百済寺】



木造十一面観音立像(重要文化財)

## 県内で唯一、 巡回型人間ドックを実施

巡回型人間ドックを始めたまっつかは、J Aから会員向けに実施されていた事業を、会員の多くが国民健康保険被保険者であるため、市で実施できないかとの話があつた事からです。

健診実施機関であるJ A厚生連に相談し、協力いただけることになり、平成20年度から実施しています。

年間20回、保健センターやコミュニティセンター等、市内6か所で開催し、600人以上が受診しています。

特定健診受診券の発送時に巡回型人間ドックの日程を掲載した健診案内を同封し、電話とインターネットで予約受付をしています。

会場を市内地域へ巡することで、自分の住んでいる近くの会場で受けられること、また都合の良い日を選べるのが魅力だと思っています。

受診者を見ると、約6割の方が継続的に受診されています。

この巡回型人間ドックは、受診者がチェックしたい検査内容によって、①ペリシクな検査を受けられる東近江ドック、

②前立腺がん検査を追加したメンズドック、③乳がん検診を追加したレディースドックの3種類から選択できます。

そのほか、オプションとして、各回、先着10名で受け付けている腫瘍マーカーは大変好評で、すぐに予約が埋まっています。

また、検査当日には受付時に「お口の健康調査票」を提出していただき、希望者には歯科相談を実施しています。健康やQOLを保つために、日頃の口腔ケアの大切さと歯科への定期受診の重要性を伝えていきます。

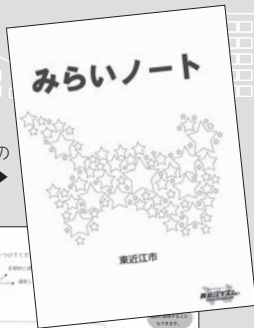
健診結果は、お返し会として案内し、管理栄養士が担当しています。結果の説明や結果に基づく生活習慣に関するアドバイスなどを二人あたり10分程度個別に実施しています。

また、今年からはB I W A・T E K Uのポイント付与や案内も行っています。



▲歯科相談も実施。結果票と併せて、ご自宅で使っていただける口腔ケアグッズをお渡ししています。

地域包括支援センター発行の  
「みらいノート」▶



フレイルチェック	
Q1	最近半年以内に体重が5%以上減りましたか？
Q2	最近半年以内に歩行速度が落ちましたか？
Q3	最近半年以内に歩行距離が短くなりましたか？
Q4	最近半年以内に歩行速度が落ちましたか？
Q5	最近半年以内に歩行距離が短くなりましたか？
Q6	最近半年以内に歩行速度が落ちましたか？
Q7	最近半年以内に歩行距離が短くなりましたか？
Q8	最近半年以内に歩行速度が落ちましたか？
Q9	最近半年以内に歩行距離が短くなりましたか？
Q10	最近半年以内に歩行速度が落ちましたか？
Q11	最近半年以内に歩行距離が短くなりましたか？
Q12	最近半年以内に歩行速度が落ちましたか？
Q13	最近半年以内に歩行距離が短くなりましたか？
Q14	最近半年以内に歩行速度が落ちましたか？
Q15	最近半年以内に歩行距離が短くなりましたか？

▲結果により、保健センターが開催している「パタカラ教室」へ案内をすることも

最後に、ご自身がどんな人生を送りたいか、また自分らしい最後について考えるきっかけとなるように「みらいノート」を渡し、地域包括支援センターの職員が

翌月、翌々月に75歳を迎える方を対象に年6回、奇数月に後期高齢者ウエルカム事業を実施しています。後期高齢者医療制度や生活習慣病予防、フレイル予防など健康について学べる内容となっています。当日は、血圧・握力測定から始まり、プログラムに沿って歯科衛生士、保健師、管理栄養士、健康運動指導士が順に説明を行います。

**75歳を迎える方向けに  
実施する後期高齢者  
ウエルカム事業(いきいきシア75)**

活用方法について説明を行っています。今年5月・7月の開催で75名の参加がありました。参加されない方についても、出欠報告表の裏面の「フレイルチェック」を確認し、必要な支援につなげるよう健康推進課、地域包括支援センターおよび長寿福祉課と連携して取り組んでいるところです。

**集団健診の結果説明会で、  
各ブースを設置**

65歳以上で高血圧等のリスクがある方へ「ものわすれチェック」を実施しています。時間は15分程度で、タッチパネルで必要な情報を入力して行う簡易な検査となります。この検査では、日常生活であまり困らないが、放置しておくこと認知症が進んでしまうMCI(軽度認知障害)の段階を見つけ、対象の方へのアプローチを行っています。

また、「平成27年度滋賀の健康・栄養マップ調査」より、市民の1日の野菜の摂取量が30g不足しているという結果が出ました。このため、減塩や野菜摂取を増やせるよう、パネル展示やレシピを配布しています。

運動面では、公益社団法人東近江地域振興事業団のスタッフにご協力いただき、体組成計(Inbody)測定を行い、結果に応じた指導を実施しています。



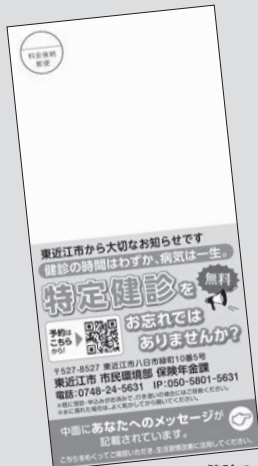
▲各ブースを設けて地域住民の健康づくりへの取組を実施

◀管理栄養士監修のオリジナルレシピ。二次元コードを読み込み、ホームページに掲載しているレシピを見ることも可能

**特定健診受診率、  
県内最下位からの脱却を  
目指して**

**ハガキによる特定健診受診勧奨**  
年2回、特定健診の受診勧奨ハガキ

を送付しており、今年9月と10月に予定しています。9月の案内は、①過去3年間で1回でも特定健診を受診されている方。②過去3年間で二度も受けられていない方。③今年度40歳に到達する方で、初めて特定健診を受けられる対象の方の3パターンで内容を変えて作成しています。



▲健診のお知らせだけでなく、過去3年間に1回でも受診していると、健診結果や推移を見ることが可能

**協会けんぽとの合同健診**

合同健診は7日間の枠があり、5日間は特定健診のみの実施で、残り2日間はプラスでがん検診も同時実施しています。



▲予約された方には、1週間前に案内を送付

東近江市では、令和5年4月から部の構成を生かし、連携を強化し、これまで以上に専門性向上を目指して施策の展開を図るために、組織改編が行われました。

健康医療部は、市民環境部の保険年金課と保険料課、健康福祉部の健康推進課（保健センター、感染症対策室）と地域医療政策課（湖東診療所、各病院、診療所含む）が統合され、構成されています。新たな組織になり、より身近に、詳細に調整が出来るようになります。

### 令和5年4月から、 健康医療部が誕生

会場については八日市文化芸術会館、東近江市保健センター、やわらぎホール等で実施しています。会場付近にお住まいで、昨年度受診して今年度は未受診という方を対象に、勸奨ハガキを送っています。



▲保険年金課と保険料課では、毎週月曜日と木曜日に健診受診啓発のためのポロシャツを着用



▲保険年金課と保険料課のみなさん

特に令和5年度は、国民健康保険健事業実施計画、特定健康診査等実施計画、本市健康増進計画および食育推進計画の計4計画の更新のタイミングです。これまででない連携を目指して、各種計画の策定に取り組んでいきたいと考えています。

### 地域医療連携推進法人 東近江メディカル ケアネットワークとの連携

令和4年4月、「地域で創る総合病院」を目指して、東近江市が中心となり、東近江医療圏内にある医療機関、学校法人とともに地域医療連携推進法人東近江メディカルケアネットワークを設立しました。この法人では、医療に関する連携はもとより、研修会の合同開催、医療人材の育成、医事品・診療材料の共同購入や、今後のデジタル社会に向けた取組を進めていきます。新型コロナウイルスによる感染症対策の経験から、「地元で看護師育成を」という声に応え、学校法人滋賀学園に、県内初の5年一貫教育の「看護科・看護専攻科」が令和6年4月開設予定です。高度な医療技術の提供や医療人材の育成は、東近江医療圏内での「医療完結率の向上」に繋がります。被保険者の負担が軽減され、住みよいまちづくりに繋がっていきます。また、保険者の運営は、医療機関とも共同することにより、新たなステージに進んでいく事と考えています。

### 東近江市PR

#### 東近江市八日市駅前 観光交流施設がオープン

令和5年4月、近江鉄道八日市駅前の複合ビル1階に、八日市駅前観光交流施設がオープンしました。東近江市の観光情報の提供や各種イベントとも連携し、地域情報を発信する施設となっています。施設内に設置した大型のタッチパネル式デジタルサイネージで市内のさまざまな観光資源を調べることが出来ます。施設内のカフェ&セレクトショップ「Sunny Spot+」(サニースポットプラス)では、おしゃれな雰囲気の中で市内の新鮮な食材を使った食事が楽しめるほか、市内の魅力的な土産も紹介・販売しています。居心地のよい空間となっていますので、東近江市を訪れる際にはぜひお立ち寄りください。



▲カフェでは、地元野菜を使った「パニーニ」が人気